

水辺劇場都市“にいがた”としての再生 -新潟はもっと楽しくなる。もっと好きになる。-

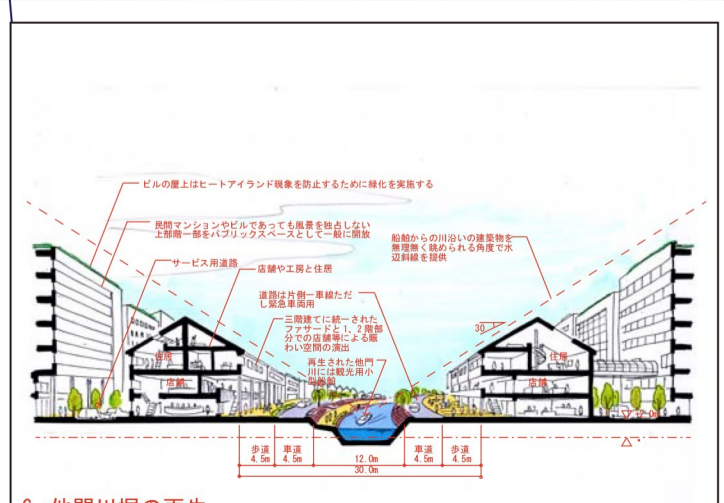
■グランドデザイン・バックカasting方式を用いた段階的整備



計画地は我々の提案する水辺劇場ゾーンに位置しており、歴史・商業ゾーンと業務ゾーンに接しています。また、新潟市の都心軸と信濃川とやすらぎ堤という新潟の誇る親水空間のクロスポイントに位置します。第1フェーズは交通拠点・防災拠点となる交通ターミナルを計画します。交通拠点として都心軸交通の要となるLRTを用いた新交通システムの導入と現在のウォーターシャトルを織り交ぜたクロスポイントにふさわしい交通ターミナルを提案します。また、パーク&ライドの採用により、マイカーの都心への乗入れを制限します。また、この交通ターミナルは防災拠点として災害対策本部、防災公園、ヘリポート、災害時船舶係留場などの機能を果たします。第2フェーズは信濃川の右岸と左岸にアゴラを設け賑わいの拠点とします。アゴラを拠点に、既存の施設を含めた大小の回遊路を設け、散歩、観光、各種イベントなど様々なアクティビティのきっかけをつくります。また左岸からは人情横町、本町、古町へ、右岸からは万代地区へと賑わいの相乗効果をもたします。第3フェーズは(20年後)他門川堀の再生と信濃川沿い建築群の完成により水辺劇場都市“にいがた”は完成します。



7. 水と土芸術祭作品ライトアップ
信濃川沿いの歩道沿いには水と土の芸術祭作品を設置し、ライトアップすることにより気品のある夜間照明を生み出します。



6. 他門川堀の再生
他門川堀は延長1.4kmで観光小型船での回遊や賑わい空間をつくり出すばかりでなく風の道や気温低下を実現します。



5. 環境シミュレーションによる建築形態・配置
信濃川沿いには環境シミュレーションにより低層部と高層部の建築配置が決まりました。風の道により気温低下と突風が防止されます。

航空写真 出典：新潟市HP